

Japan
Handball
Association



<input type="checkbox"/>	社会人
<input type="checkbox"/>	学生
<input type="checkbox"/>	高専
<input type="checkbox"/>	高体連
<input type="checkbox"/>	中体連
<input type="checkbox"/>	小学生

<input type="checkbox"/>	全国大会
<input type="checkbox"/>	ブロック大会
<input type="checkbox"/>	都道府県大会

<input type="checkbox"/>	男子
<input type="checkbox"/>	女子

試合 番号	女17
----------	-----

年月日	2023 年 3 月 25 日 (土)
大会名	令和4年度 第46回全国高等学校ハンドボール選抜大会 Presented by MIZUNO

公 式 記 録 用 紙

A	県立華陵高等学校										小松市立高等学校										B
都道府県			市町村			会場														回戦	
岐阜県			岐阜市			岐阜メモリアルセンター で愛ドームBコート														2回戦	
前半	A	B	最終 結果			A	B	第1 延長	A	B	第2 延長	A	B	7m追加 カウント		A	B				
7m得点/総数		0/0	チームタイムアウト						チームタイムアウト			B	7m得点/総数								
				1	2 後	3				1	2	3			1/3						
				2257	0509																

No.	華陵	G	W	2'	D	DR	No.	小松市立	G	W	2'	D	DR
1	河村妃莉						1	北林梨里					
2	信友愛海	5					2 C	谷口小桜	8				
3	伊藤綺里	2					3	浦とわ子	2				
4	元久凜香	3					4	袖ヶ市花怜					
5	吉國沙咲	4					5	松邑瀬奈					
6	河野柚希						6	向田菜津	9				
7	宗森陽和						7	古山朔	3	1			
8 C	前川奈々美	3		1			8	江幡碧宮					
9	宮島莉子						9	坂本亜美					
12	高倉奈波						10	竹田留菜					
							11	中嶋祐楽					
							12	北妃莉					
							13	鍋島寿希	7				
							14	松本唯吹	3				
A	東慶一						A	古橋健太					
C	山本華子						B	古橋幹夫					
B	伊内真帆						C	宮前薫					
D	湯浅笑美子						D	西山桂衣					

A	チーム役員 A 署名										B			
特記事項														

レフェリー	萩原 佳明	清水 健太		
TD	中山 学	畑中 寛之		
MO				

得点(G),警告(W),退場(2),失格(D),報告書付き失格(DR)特記事項に報告書として内容を記入

試合 番号	17	女子 [③]
----------	----	-------------

令和4年度 第46回全国高等学校ハンドボール選抜大会
Presented by MIZUNO

試合結果・戦評報告書

競技日	3月25日 (土)	会場	岐阜メモリアルセンター で愛Bコート		
種別	女子	回戦	2回戦		
Aチーム名			Bチーム名		
県立華陵高等学校			小松市立高等学校		
得点合計	小計	period	小計	得点合計	
17	10	前半	14	32	
	7	後半	18		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7mTC			
戦評		記載者氏名	木田 強		
<p>華陵のスローオフで試合開始。小松市立がNo.6向田のカットインで先取点をあげた。そのまま小松市立がリードしては華陵が追いつくという展開が続くが、13分には小松市立がNo.13鍋島の2連続速攻で9-6とリードを広げた。しかしその後、華陵もNo.2信友のロングシュートなどで3点を連取し18分には9-9と追いついた。その後は逆に小松市立がペースを握り、No.2谷口のカットインなどで5連続得点。最後に華陵No.8前川がポストシュートを決めたが、前半は小松市立が14-10の4点リードで終えた。</p> <p>後半は小松市立のスローオフから。小松市立は、No.7古山の速攻による得点からペースを握り、GKNo.1北林の再三にわたる好セーブとロングパス、No.6向田の鋭いパス回し、No.2谷口のロングシュート、No.13鍋島の速攻などで着実に得点を重ね、16分には25-12とリードを広げた。その後は華陵がNo.5吉國のカットインや速攻などで得点すると、小松市立はNo.6向田のロングシュートなどで応戦するといった展開が続き、最終的に、小松市立が32-17で勝利を収めた。</p>					